

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
18	〇	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001を取得しており、ISO9001及びOHSAS18001との統合システムであるPAS99を認証取得している。			3.9		6	7					12	13.3	14	15							
19	〇	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】HP等でCSR活動として環境への取り組みの情報を発信する。											12.6										
20	〇	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工場や各支店への太陽光パネルを設置し、約900KWのグリーン電力を発電し、使用している。 ・小水力発電機を自社で設計・施工をして地域電力供給をしている。							7.2						13								
21	〇	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・大型車両や重機を省エネ型の最新のものに入れ替え、TV会議システムで人の移動を減らして燃料の消費を軽減している。 ・使い捨ての型枠資材でなく、自社開発のFRP素材の型枠を使用している。												12.2	13	14	15						
22	〇	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則で汚職・贈収賄を禁止するとともに、行動規範を整備して社内浸透を図っている。																				16	16.5
23	〇	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・談合には一切参加せず、不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している																				16	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・型枠資材や工法において特許等の知的財産権の取得・管理している。									8.2	8.3	9										
25	〇	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備している。 ・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している。																				16	
26	〇	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																					16	
27	〇	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5					8		10		12	13	14	15	16	17		
28	〇	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・自社生産物の使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。			3.9										12.4								
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・お客様アンケートを実施して社内共有する体制・ルールを策定、その声を活かす活動を実施している。 ・ISO9001(統合システムPAS99)を取得済。											9										
30	〇	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・小水力発電設備の導入に対しトータルサポートをしている。 ・使い捨ての木製型枠でなく、FRP製のリユース素材で軽量の型枠の特許を取得して施工に利用している。						6							12	13	14	15					
31	〇	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・再生可能エネルギーとして小水力発電設備の開発を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											
																																
32	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・外の現場での仕事のため、薬品や油等による土壌汚染や水質汚染には特に注意をして施工している。 ・工事内容により地域との事前の説明会などを実施、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている。				4								9			11	12				14	15					17		
33	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・上伊那地方を中心に13自治体に、3月に寄付を実施した。 ・地域の防災活動に参画し、「駒ヶ根市消防団協力事業所」の認定を受けている。 ・長野県経営者協会にて、「青少年育成委員」の幹事を務め、郷土愛プロジェクトの事務局として活動をしている。				4												11						14	15				17	
34	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・当社の株主優待にて、地元企業の生産する食品を約20種類ラインナップし、約30,000個を全国の株主に毎年送っている。												8	9			11	12	13										
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化し、朝礼にて毎朝唱和している ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している													8	9													17	
36	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・経営トップが常に法令順守(コンプライアンス)の重要性を社員に向けて発信している。 ・コンプライアンス責任者を各事業部長として、統括部門を総務人事チームと定めて適正な業務運営をしている。 ・コンプライアンス研修を実施している																											16	
37	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・【予定】総務部門が担当しているが、今後責任者(担当役員)決め、組織的に行う。																											16	
38	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・【予定】自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容の把握に努める。																											16	17
39	組織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・毎期部門ごとに事業計画書を作成し、リスク調査でリスクの洗い出し、評価を行った上で、年間の対策を講じている																											16	
40	組織体制	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSR方針(行動規範)に合致した経営理念のもとに、CSR活動をしている。 ・【予定】HPでの活動情報の開示は、内容の充実を行う。																											16	
41	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCP対策は、災害対策本部を置く体制を定めており、定期的に緊急時の訓練を実施している。															9			11				13 13.1				16		
42	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・今期6月27日に代表取締役社長を交代したところ。その他の役員体制も新たに布陣し直しをした。														8	9												17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)